

平成29年度「ANNE」ブッククラブ絵本リスト 6才～7才



幼児の心理を巧みにとらえた、明るくユーモラスなお話に、アメリカの代表的な絵本作家センダックが、あたたかく個性豊かな絵を描いています。絵本から童話への橋渡しに

がまくんとかえるくんは、自然体でお互いを思い合っています。やさしいのか、いじわるなのか・・・？そんなふたりの友情を描いた5つのお話です。

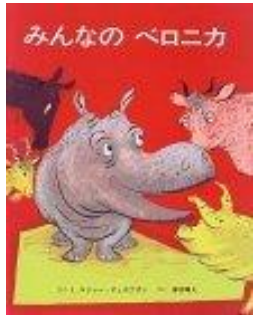
文化出版局



ルピナスさんは、おじいさんと約束したとおり、世界中を旅行して、海辺の小さな家に住み、3つめの約束「世の中を美しくする」ためにすてきな魔法を思いつきました。 ほるぷ出版



「三びきのくま」「三びきのこぶた」「金のがちょう」「親ゆびトム」というイギリスの昔話に、ブルックが、これ以上ないと思わせるほど見事な絵をつけています。1904年生まれの古典。 福音館書店



かばのペロニカが農場にやってきたけれども、もといや動物達が彼女を受け入れようとせず、ペロニカに挨拶をされても無視！ペロニカは、だんだんと草もますぐ感じるようになり、とうとう病気になるてしまいます。

童話館



シルベスターがある日ひろった、赤くひかるきょうな小石。それはなんでもわめいのかやう、まほうの石だった！そこにライオンがあらわれ、シルベスターは思わず「岩になりたい！」とわがってしまう。 評論社



こっちの山にはコン、むこうの山にはポン。二人とも友だちがほしくてたまりません。

童心社



大きな子どもたちにまじって、はじめてキャンプの一晚をすごす小さな女の子の気持ちのたかぶりや不安、そして勇気などが、ユーモラスに、表情豊かに描かれた幼年童話です。

福音館書店



ねずみをさがして冒険にでた、こねこの出会うさまざまなできごとを、簡潔で、テンポの早い語り口でユーモラスに物語ります。幼児のためのお話としてすでに古典の地位を獲得した作品。

福音館書店



モンゴルの楽器「馬頭琴」の由来を伝える、悲しくも美しい物語。まっすぐで清らかな心の持ち主、少年スーホと白馬の絆が、叙情あふれる淡い水彩画を背景に深く、熱く語られます。時代を超えて読者の心に響く名作です。 福音館書店



きつねコンチは、きつねはらっぱの近くに住んでいます。季節の移り変わりのなかで営まれる、幼い子どもとお母さんの豊かな生活を描いたおはなし。

のら書店



もうすぐクリスマス。幼稚園に通う小さな女の子セシは、初めてポサダのお祭りをしてもらえることに大はしゃぎ。メキシコではクリスマスの前の9日間、毎晩どこかの家でポサダのパーティが開かれます。 富山房



ある家にすむ母さんねずみと子ねずみたちは、人に気づかれぬよう静かに暮らしていました。ところが末の子ねずみやカちゃんの声の大きいこと。きっと大変なことがおこるでしょう！

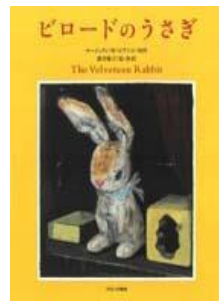
福音館書店

平成29年度「ANNE」ブッククラブ絵本リスト

7才～8才

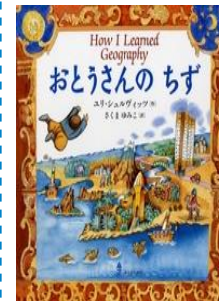


見習いコックのトムは、ケーキをとても上手に焼けるのですが、今まで、皿やスプーンしか洗わせてもらえませんでした。トムの唯一の友だちは、白ねずみのティナでした。トムは、ティナにいろんな芸を教えました。
アリス館



ある日、ぼうやのもとにやってきたビロードのうさぎ。たくさんのおもちゃにかこまれて部屋のすみで小さくなっていたうさぎは「子どもに愛されたおもちゃはいつかほんものになれる」ことを知ります。やがて、ぼうやといっしょにすごすようになったビロードのうさぎに まほうがおとずれて…。

ブロンズ新社



作者の、画家として歩み始める原点を描いた自伝絵本。戦争で故郷を追われ、過酷な暮らしをしていた時期、父親の持ち帰った世界地図が少年だった作者にパン以上のものを与えた。
あすなる書房



人間の世界に興味を持った木が、美しい愛情やみにくい欲望を見て心の成長をとげる。

借成社



動物島に捕えられているりゅうの子を助けるため、エルマーは冒険の旅にでかけます……。広がる空想、ユーモア、リアリティー。幼年童話の最高峰の一つとして読みつがれています。

福音館書店



毎日勉強で青白い顔をした王子様が、ある日おばさんの庭で「みしのたくかにと」という立て札を目にします。そして、これが王子様にばら色のほっぺを取り戻すことになるのです。

こぐま社



学校の教室では無視されていた少年、からすたろうには、かくされた才能が。教育とは何かを問う。

借成社



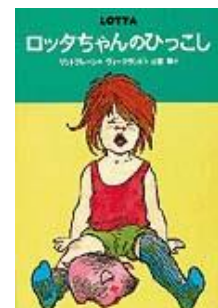
クリストファー・ロビンの子どもべやに集まってくるぬいぐるみのおもちゃたちが活躍する、おなじみの『クマのプーさん』『プー横丁にたった家』から、3つのお話を選んだ楽しい絵本。

岩波書店



トガリ山のぼうけん 1 天につきささるトガリ山のとっぺんをめざして、小さなネズミの若者がぼうけんの旅に出る。絵と文でつづる長編絵本シリーズ。

理論社



夢見がわるく、ごきげんななめのロッタちゃんは、家をとび出してとなりの家の物置小屋へ引越します。幼児の心理をとらえいきいきと描く幼年童話。

借成社



町へクリスマスのお買い物に出かけた幼いリサベット。いたずら心で知らないおじさんのそりのうしろに乗ってしまい、あげくに森の中に置き去りにされて…!?

徳間書店



エプロンが短かったら上を切って下にぬいつける、といった具合に頭を使って、毎日を愉快におくるおばあさんの、心あたたまるおかしなお話。どんな子どもも笑い出す傑作です。

福音館書店